



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 013 Sep 21, 2004

★次号 (Volume 014) の発行は10月12日 (火) となります

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef (牛肉) とPork (豚肉) を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況 (8月30日～9月3日)

●週間と畜頭数：64万頭 (前年同週は祝日を含むため比較不能)。

●肥育牛の現金取引価格 (100ポンド [約45kg] 当たり)：
主要5市場では、平均80.20ドル (前週比2.46ドル安)。
枝肉価格は平均127.90ドル (同3.32ドル安)。

●牛肉価格：歩留まり等級3 (YG3) のチョイスは、
131.86ドル (前週比5.58ドル安)。YG2～3のセレクト
は、126.29ドル (同4.96ドル安)。

●牛肉売上低調で生体牛市場は安値更新

マージンの減少、牛肉売上の不振、増加するフィードロット内頭数などの影響で、生体牛の現金取引価格は80～81ドル、牛肉価格にして128ドルと、市場価格は2週連続で下落した。ボックスビーフも、チョイスのカットアウトが100ポンド当たり2ドル値を下げた。9月第1週の祝日連休以降も牛肉の売上が回復しなければ、更に安値が進み、2月中旬以来の78ドルまで下がる可能性が高まるとアナリストは見ている。こうした状況の中で、第4四半期の好転を期待し、肥育業者は体重の増えた牛の出荷に向けた努力を迫られている。

※2004年9月6日 Cattle Buyers Weekly

オクラホマシティにおける去勢牛の体重別、
100ポンド (約45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	8月30日～9月3日
400～500	124.00～150.50
500～600	113.75～126.75
600～650 (子牛)	110.00～121.25
600～700 (若齢牛)	120.00～125.00
700～750 (子牛)	112.50～113.75
700～800	110.00～120.50
800～1000	103.00～114.00

※2004年9月3日 Cattle Outlook
(Glenn Grimes & Ron Plain)

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (8月30日～9月3日)

●週間と畜頭数：204.6万頭 (前年同週は祝日を含むため比較不能)。

●肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は、横這いから前週比2ドル高の間で推移。枝肉は前週比で0.27ドル安から1.49ドル高で動いた。



米国食肉市場ニュース

～ 豚肉 ～

豚肉市況(8月30日～9月3日)

●成豚の重量別取引価格：電話取引価格は前々週比で横這いから堅調で推移。重量別取引価格は40～50ポンドが97.00ドル、50～60ポンドが94ドル、60～70ポンドが82.50～91.00ドルで、昨年に比べ、年末まで好調が続く見込み。

主要市場における100ポンド(約45kg) 当たりの最高価格(US\$)

185ポンド物(約83.5kg)の 枝肉平均価格(US\$)

	9月3日
ペオリア	50.00
セントポール	報告なし
スーフォールズ	報告なし
ミズーリ中央部	48.75

	9月3日
東部トウモロコシ地帯	69.40
西部トウモロコシ地帯	70.65
アイオワ・ミネソタ	71.13
全 国	69.91

※2004年9月3日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

●例年通り、秋は安値が予想される。過去5年間、51～52%豚赤身肉の平均現金取引価格は7月から11月で9.42ドル(100ポンド当たり)下落している。今年の7月は平均56.71ドルだったが、11月は40ドル台中盤で落ち着くと見られる。

パッカーニュース

●スィフト社、第4四半期過去最高の純利益

同社は、今年の第2・第3四半期はワシントン州のBSE発生などの影響を受けて苦戦したが、第4四半期は売上高26億ドルに対し過去最高の純利益3,520万ドルを達成した。年間では、売上高98億7,900万ドルに対し純利益4,450万ドルとなる。

業績回復は、牛肉、豚肉、オーストラリア市場から成る「3脚の椅子」と呼ばれるビジネスモデルが功を奏したため。3事業部門とも、第4四半期はEBITDA(利払い・税金・償却前利益)が前年比で100%以上の伸びを示し、新しい4本目の脚となる加工食品部門で予測される成長を考慮すると将来の見通しは明るいと、同社は述べている。

※2004年9月6日 Cattle Buyers Weekly

●スミスフィールド社、子会社に優秀環境賞

今年で4回目となる同賞は、コンプライアンスの枠を超えて、積極的に汚染防止や環境改善などに取り組む模範的な業績に対し贈られる。今回は、環境管理システムの実施とISO14001を取得したスミスフィールド・パッキングのノースカロライナ工場を始め、子会社4社が、9月上旬にシンシナティで開催された表彰式で受賞した。

※2004年8月31日 Meatingplace.com

●カーギル社、ブラジルの豚肉・鶏肉生産者に出資

同社は40年来ブラジルで別事業(従業員総数:6,000名)を展開してきたが、今回現地の有力な豚肉・鶏肉生産者、セアラ・アリメントス社の株式62%を1億3,000万ドルで取得するという、南米での事業拡大計画を発表した。ブラジル当局の審査の後、2005年2月の契約を予定している。アジア諸国で発生した鳥インフルエンザの影響で、ブラジルの豚肉・鶏肉の売上は伸びているが、ブラジルでも発見された場合、契約は解消すると同社は述べている。

※2004年9月6日 Cattle Buyers Weekly



セーフティー関連 ニュース

●サウスダコタ州牛肉認定制度 順調なスタート

数週間前に発足した同制度は、早速、第1号の認定取得者を迎えた。「プレミアムビーフ」の認定条件には以下の内容が挙げられている。

- ・2004年1月1日以降に生まれ、出荷まで州内で肥育
- ・離乳前もしくは出荷前にEIDタグを装填
- ・出荷時の月齢上限は30カ月
- ・出荷前120日間、トウモロコシや穀物飼料を与えられた牛であること
- ・生産者は、BQA-CMPのガイドラインに沿った肥育方法であることを示す宣誓書に署名のうえ、牛肉品質保証生産者の認定を受ける。

※2004年9月1日 Meatingplace.com

イベント情報

●USMEF、「アメリカン・ポーク親子料理教室」開催

米国食肉輸出連合会 (USMEF) は10月2日(土)、小学生のお子様と親子で参加する「アメリカン・ポーク親子料理教室～早見優の英語でクッキング!」を開催します。早見優さんがご自身で考案したアメリカン・ポークメニューを、英語でのトークをはさみながら楽しく教えてくれます。是非、ご参加ください。

■ 日 時：2004年10月2日(土) 1回目：10:00～12:00
2回目：14:00～16:00

■ 場 所：女子栄養大学(東京/豊島区)

■ 対 象：小学生親子 各回24組48名

■ 応募方法：参加ご希望の方は下記まで電話でお申し込みください。(先着順)

■ 参 加 費：1組につき1,000円(材料費として)

■お申し込み・お問い合わせ：ブラップジャパン 03-3486-6868(山口/荻田)

★今後も、カーリー西条さんや人気料理研究家の方々の料理教室を開催する予定です。